

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	火災現場における両手熱傷
3. 体験した事例の中心的要素	木造1階建て、第二出場の火災に出場し第一線を延長し、火点から約5メートルの位置で火勢制圧のため水が乗ってくるまで筒先を構えていたところ、両手に熱気を感じて受傷したものと推定
4. 体験した事例の原因・理由	火勢熾烈であったため、その輻射熱による受傷と推定される。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	
------------------	--

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成22年6月26日 午前4時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	火傷・熱傷
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、[木造建物]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	部署・筒先配備
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[34]歳、勤続年数[10]年、現場経験年数[10] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 []、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 []、任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

[illegible]

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	火災現場に出場	
経過2	当事者A	火災現場に到着	
経過3	当事者A	中隊長の下命によりホース2本を火元建物北東側に延長	
経過4	当事者A	火元建物約5mの位置に部署し、筒先を構え両手に熱さを感じ2. 3歩後退後、ホースに水が乗り放水開始	
経過5	当事者A	残火処理中、両手にひりひりする痛みを感じ、確認すると両手に水泡ができていたので中隊長に報告	
経過6	当事者A	現場指揮本部で救急隊の容態観察、病院搬送	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。避難退避がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ
b. 注意力が欠如していた	
・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

フード、しころをした完全着装であっても、ホースに水が乗らない状態では不用意に火点に近づきすぎない。

○装備・資機材の対策について

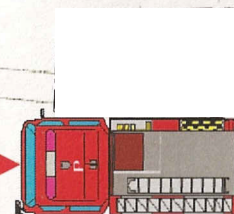
手袋、フード、しころ等を過信しない。
手袋は、最新のものを使用する。
手袋は、濡れたり、湿った状態で使用しない。

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

筒先保持の位置関係

筒先を構えた位置
強い熱気を感じ2, 3歩後退し、
その直後に放水開始完了した。



5m

10m